

## コラムを読み解く(中学・国語)

( )中学校( )年( )組 氏名( )

**南風録**  
鹿兒島市の住宅街で夜、目の前を影が横切った。猫かと思つたが顔が違う。アナグマだった。人を怖がる様子もない。市街地で目撃情報が増えているそうで、市は餌を与えないよう呼びかけている▼名前は似ていても、より注意が必要なのが特定外来生物のアライグマである。始良市で見つかつて大騒ぎになったのは10年前だった。県内に定着させてはならないと、当時は警戒感が強まった▼アナグマやタヌキと見分けづらいが、尾がしま模様といった違いがある。加えて、見た目の愛らしさも特徴だろう。凶暴だと注意を促すチラシの写真さえ、くりっとした目がかわいらしくて調子が狂う▼とはいえ、厄介者には違いない。国内の広範囲で既に定着し、生態系や木造家屋、何より農作物に大きな被害を与えている。農林水産省の統計で、その額は年間5億円近くに上る▼県本土でも10年間で発見が相次いだ。今月は16例目となる個体が薩摩川内市で初めて見つかった。定着させないために市民も目を光らせる必要がある。アナグマらしき動物を見かけたら、尾を確認するとしよう▼日本では1970年代、アニメの影響でアライグマが人気となった。ペット用に輸入されたが、手に負えず捨てる飼い主もいたようだ。無責任な行為で野生化して今では厄介者である。あのくりっとした目が、人間の身勝手さを見透かしている気がする。

2025年8月21日付1面

\* 習っていない漢字とむずかしい言葉の解説

住宅街(じゅうたくがい)、影(かげ)  
猫(ねこ)、違(ちが)う、怖(こわ)がる  
餌(えさ)、与(あた)えない、呼(よ)びかけ  
特定外来生物(とく・てい・がい・らい・せい・ぶつ) = 日本の生態系に被害を及ぼすおそれがあるため、外来生物法によって飼養や輸入などが規制されている生物。アライグマ、カミツキガメ、オオクチバスなど。  
大騒(おおさわ)ぎ、警戒感(けい・かい・かん)、尾(お)、模様(もよう)、違(ちが)い  
特徴(とくちょう) = 他と異なって特別に目立つし。凶暴(きょうぼう) = 凶悪で乱暴なこと。 促(うなが)す = 催促する。そのことを気にするようにさせる。 狂(くる)う 厄介者(やくかいもの) = 他人に迷惑をかける人。広範囲(こうはんい)、既(すで)に、生態系(せい・たい・けい) = 生物の群集とそれに影響する無機的环境からなるシステム。 個体(こたい) = ほかの物と区別される一つ一つの物。 影響(えいきょう) 手に負(お)えず = 始末できない。手に余る。 行為(こうい)、見透(みす)かす = 相手の考えなどを見通すように知る。見破る。見抜く。



【問1】アナグマより注意が必要な特定外来生物は何ですか。

( )

【問2】1の生物とアナグマやタヌキを見分ける特徴を書きましょう。

( )

【問3】1の生物が「厄介者」とされているのはなぜですか。

( )

【問4】外来生物でありながら、国内に定着し、野生化した理由を書きましょう。

( )

【問5】「人間の身勝手さ」について、あなたの考えを書きましょう。